

令和5年度

事業報告及び決算報告書

令和5年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業報告

【基本方針】

令和5年度は、5月より新型コロナウイルスへの対応が変わり地域では活動が動き出し参加者が溢れるようなイベントがある一方、引き続き外出を控える方もおられるような状況でした。

活動の再開にあたり、コロナ禍を経た地域状況の変化に対応していくために話し合いの場の大切さを視点にした取組みを行いました。そのような中、多くの地域で担い手不足が大きな課題としてあげられています。

また、本会の組織運営や活動に信頼を寄せ、協力いただいている地域や関係機関からの期待に応えられるよう、コンプライアンスの意識を高め、事務・事業の適正化や事件・事故の未然防止に努めるとともに、職員が生き生きと働けるようワークライフバランスの推進に取り組みました。

【重点取組】

1 心配ごと・困りごとへの対応

ボランティアセンター、移動情報センター、あんしんセンター、生活福祉資金貸付事業、食支援の取組など個別の支援から生活課題などを把握し、関係機関と協力し解決を図りました。

- ・移動情報センターでは、地域ケアプラザと連携したボランティア講座を開催しました。
- ・寄付品やフードドライブでの食品を活用し、区役所や民生委員・児童委員と連携し生活の困りごとや地域活動の支援につなげる取組を行いました。

2 身近な地域における支援体制の強化

身近な地域で困りごとを受けとめ、支えていく取組を拡充しました。

- ・身近な地域で対象者を限定しない居場所の運営が途切れることの無いよう、令和4年度に引き続き継続運営支援を行いました。
- ・地域における情報を支援機関（本会、地域ケアプラザ、区役所）が共有することで、地域のニーズ把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

3 地区社協活動・小地域活動の支援

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」へ向けて、住民とともに身近な地域での「つながり・支えあい」を進める本会の強みを活かす支援に取り組みました。

- ・各地区における地域活動の再開や担い手不足等についての現状と課題について、情報交換を行いました。

- ・地区社協に求められる「話し合いの場づくり」が推進されるよう地区社協懇談会での検討や地区社協セミナー「ネットワークから広がる地区社協活動」を実施しました。
- ・地区社協活動への関心と理解を広めることを目的に、地区社協リーフレットの改訂など情報発信の強化に取り組みました。

4 港北区地域福祉保健計画の推進

第4期計画（5か年計画）の3年目として、区計画における本会の取組を着実に進めるとともに、地域ケアプラザ・区役所と連携して、地域による地区計画の推進を図りました。また、第5期計画策定に向け区民意識調査を実施しました。

- ・令和4年度に開催した「あなたのイイね！伝えよう～まちの素敵な取組コンテスト～」をもとに、港北区の地域活動の魅力を発信する啓発動画を作成しました。

5 災害対策の充実

近年、広域に渡って発生している災害に備え、対応体制の構築を進め、対外的に重要な役割となる災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向けて、区役所、港北区災害ボランティア連絡会と締結している「横浜市港北区災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書」の見直しを行いました。また、災害に備えアプリを活用した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（シミュレーション訓練）を実施しました。

6 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化

事業の推進に向け、その基礎となる組織運営の充実・強化に取り組むとともに会員組織の拡充に努めました。

- ・正会員を対象とした会員セミナー（対人援助基礎研修）を開催しました。
- ・ボランティア・市民活動分科会、在宅福祉分科会、障害者セイフティーネット分科会、保育所分科会において会員の連携、課題の共有・解決を図りました。
- ・コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応の徹底を図りました。また、日常業務でのヒヤリハットの確認および事故の原因と改善策について共有を行いました。
- ・横浜市社協人材育成計画に沿って、内部研修や外部研修を活用し必要な知識・技術の研鑽に努め、職員の専門性を高めました。

I 福祉啓発

1 IT を活用した情報の発信

<ひっと とどく-1>

本会の事業や役割、地域や本会会員団体の活動について広く周知を図るとともに、必要な情報が必要な人へ届くよう、ホームページの充実に加え、動画配信や SNS を活用し情報を発信しました。

(1) ホームページ

- ① 地区社協活動やボランティア募集、福祉保健活動拠点の予約状況、各種講座の情報を掲載
- ② 地域福祉保健活動の情報(地区社協・地域ニュース)の発信
- ③ 問合せフォームや電子メールを使用した各種受付
- ④ 地区社協ページの充実

本会ホームページ閲覧件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
閲覧件数	36,890	42,358	46,759	50,555	46,012

(2) インターネットの更なる活用

X(エックス(旧ツイッター))を活用し、ホームページ更新情報や講座・地域情報を発信しました。



本会ホームページ

<https://www.kouhoku-shakyo.jp/>

2 広報紙「ふくしのまど」の発行

<ひっと とどく-1>

地域の福祉活動・本会事業・地区社協の取組・ボランティアセンター情報などを定期的に発信していくため、地域新聞を活用し、広報紙「ふくしのまど」を発行しました。

(1) 「ふくしのまど」の発行(地域新聞を活用)

- ① 7月 109号: 福祉体験のご案内、新会長挨拶、善意銀行ご寄付のお礼
- ② 11月 110号: 社会福祉功労者の表彰特集、各種講座のご案内
- ③ 1月 111号: 趣味や特技を活かしたボランティア活動の紹介、バリアフリー上映会・精神保健福祉講座のご案内、他

発行部数: 新聞折込 56,200部/1回 施設などへの配架 1,160部/1回

配布先: 新聞折込・福祉保健活動拠点・地域ケアプラザ・地区センター・

区民活動支援センター、ホームページ掲載など

その他: 新聞折込エリア外の地域は増刷し、本会から直接送付(440部/1回)

(2)「こうほく区社協だより」の発行

本会の取組や事業の進捗などをタイムリーに発信するため、地域活動関係者向けに毎月「港北区社協からのお知らせ」をメールにて送付しました。

3 「港北ほくほくフェスタ」の開催

＜ひっと とどくー1 つながるー1、2＞

区内における地域福祉の発展に寄与することを目的として、福祉活動功労者の表彰並びに港北区と共催の区民フォーラムを各種福祉保健活動団体の協力を得て開催しました。

(1)開催日・場所

11月2日 港北公会堂および区役所中庭

(2)内容

- ①第41回港北区社会福祉大会(社会福祉功労者表彰状並びに感謝状贈呈)
- ②区民フォーラム(第4期港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の啓発)
テーマ:「このまちが好き!～子どもからつながる、みんなのちょっとイイ関係～」
- ③ボランティアの広場(区ボランティア連絡会による模擬店・バザー)
- ④港北区社協各分科会活動パネル展示
- ⑤「社会を明るくする運動」標語コンクール優秀作品の展示

(3)参加者 約440名



社会福祉大会



区民フォーラム



ボランティアの広場



社会を明るくする運動

Ⅱ 個人の自立支援

1 港北区社協あんしんセンター事業の実施

<ひっと とどく-1>

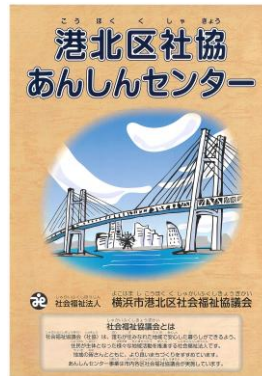
高齢者や障害者の自立生活を支援するため、日常生活自立支援事業の普及・啓発を行い、利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行いました。また、よこはま成年後見推進センターや港北区成年後見サポートネットとの連携を強化し、市民後見人の支援や成年後見制度の周知を行うとともに、権利擁護を推進しました。

(1) 利用対象

- ① 概ね 65 歳以上の高齢者
- ② 成年で障害のある方(身体・知的・精神)

(2) サービス内容

- ① 総合相談
- ② 金銭管理・定期訪問
- ③ 預金通帳など財産関係書類の預かり



パンフレット



市民後見サポートネット研修

(3) 関係機関との連携

- ① 港北区成年後見サポートネット
 - ・全体会(年3回)、専門職会議(年4回)、市民後見サポートネット研修(年1回)
- ② 港北区地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会への参画

(4) 普及・啓発

- ① 区役所・地域ケアプラザとともに、コスモス成年後見サポートセンター県支部横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催(12月2日)
- ② 民生委員児童委員への制度周知(新任民生委員研修、地域ケア会議)
- ③ パンフレットや事例集を使用した関係機関へ制度の周知・広報

契約・相談件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契約件数	72	58	54	51	55
うち新規	20	11	12	4	16

年度		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
延活動数	初回相談	61	57	47	52	95
	継続相談・活動	4,191	4,134	4,411	4,587	3,711

※成年後見制度への移行に係る対応ケース(令和4年度2件、令和5年度4件)

2 障害児・者のための外出相談室

港北区移動情報センター「おでかけGO! 港北」の実施

<ひっと ひろがる-1、つながる-2、とどく-1>

障害児・者の移動を支援する窓口として、移動手段の相談・情報提供や地域への啓発や移動支援に関するボランティア人材の発掘、育成などを行いました。また、新入学の準備、学校生活、卒業後の備え、社会生活などのライフステージごとのニーズ把握と具体的な対応について必要な支援に取組みました。

(1) 利用対象

障害児・者およびその家族、支援機関

(2) 移動に関する相談や情報提供(制度説明・福祉サービス事業所などの紹介)

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	402	305	210	161	222

(3) 保護者、関係機関との連携

- ① 保護者座談会の開催(年4回 参加者9名)
- ② 篠原地域ケアプラザと連携した、とも・とも篠原(障がい児放課後余暇支援事業)ボランティアに向けた講座の開催(9月5日 参加者12名)
「コミュニケーションが難しいこどもとの関わり方」
- ③ 鶴見支援学校と連携した講演会の開催(1月29日 参加者20名)
「中学部進路学習会 移動支援の制度について」
- ④ 樽町地域ケアプラザと連携した講座の開催(3月21日 参加者14名)
「見守りが必要なお子さんへ具体的な接し方、関わり方をみつけよう」

(4) 支援者の発掘とフォローアップ

参加型勉強会の開催(7月3日 参加者54名)

「ガイド中のエピソードから考える発達課題～具体的な対応、関わり方を見つけましょう～」

(5) 横浜市ガイドボランティア事業(※)の実施

- ① ガイドボランティア活動のコーディネート
- ② 奨励金の支払いなどの事業実施

ガイドボランティア登録者数・派遣件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	58	51	44	45	52
派遣件数	1551	2116	576	1235	952

※横浜市ガイドボランティア事業

障害のある方の外出付添いボランティアに対し、奨励金が支払われる横浜市の事業

(6) 事業の周知・広報

移動情報センター紹介動画の作成



← 紹介動画サイト

<https://youtu.be/hPSFTeYHDMk>

(7) 推進会議の開催

回	開催日	内容
1	8月7日 11名	令和4年度事業報告 令和5年度第1四半期事業報告 令和5年度の予定について 情報交換
2	2月19日 13名	令和5年度第2四半期～第3四半期の相談傾向について 令和5年度 事業報告(令和6年1月末現在) 令和6年度 事業計画 情報交換

3 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供

<ひっと とどく-1>

区内の子育て世代支援を目的とし、認定 NPO 法人びーのびーのと協働して、ホームページや子育て応援マップ(紙版)を通じて子育て情報を発信しました。

ホームページについては、子育てに関する必要な情報が簡単に入手できるよう更新していくとともに、編集メンバーによる特集やブログ等の形式でも役に立つ情報を発信していきました。

子育て応援マップ(紙版)については、改訂版(令和4年度改訂)をより多くの方に知っていただけるよう区内活動団体等に周知しました。

(1) スマートフォンやタブレットにも最適化したホームページによる、タイムリーな情報提供



ココマップ(Web版)



← ココマップ HP

<https://www.kouhokushakyo.or.jp/>

ホームページ閲覧件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
閲覧件数	160,872	135,284	153,479(※)	257,722	291,258

※令和3年度より、閲覧件数のカウント方法を変更しました

(2)子育て応援マップ(紙版ココマップ)の周知及び配布

(3)編集委員会の開催(Web版:年11回、紙版:年2回)

4 生活福祉資金貸付事業の実施

<ひっと とどく-1>

低所得世帯、障害者世帯へ、資金の貸付を行うことによって、その世帯の生活の安定と経済的自立に向けた支援を行いました。

また、特例貸付(※)は、順次償還が始まり償還猶予や免除の相談が増加しました。区役所等の関係機関と連携しながら支援を続けています。

※特例貸付:新型コロナウイルス特例措置の緊急小口資金、総合支援資金(初回、延長、再貸付)

(1)通常の貸付・相談状況

相談・問合せ件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	1,521	1,177	565	1,020	1,712

新規貸付件数

年度		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
生活福祉 資金	福祉資金	6	2	3	1	1
	教育支援資金	12	12	30	20	14
総合支援資金		1	0	0	0	1
つなぎ資金		0	0	0	0	1
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	1
緊急小口資金		6	1	0	0	1
合計		25	15	33	21	19

(2) 特例貸付

相談・問合せ件数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	363	1,796	9,484	12,532	11

※特例貸付の申請受付は令和2年3月 25 日から始まり、令和3年 12 月 31 日をもって終了しました。以降は償還についての相談や問い合わせの対応を行いました。

(3) 関係機関との連携

港北区役所生活支援課と随時連絡・調整を行いました。(12 月 25 日 情報交換会)

(4) 担当職員の資質向上

- ① 県社協主催の研修に出席(1回)
- ② 内部ミーティング(月1回)を実施

5 困りごとのある人への支援

本会の「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作りだす」という活動理念のもと、一人ひとりの生きづらさや社会生活を営む上での困りごとの相談に対して、相談を受けとめ、必要に応じて関係機関や制度、サービスなどの紹介・調整を行いました。地域共生社会の実現に向けて、本会事業における新しい仕組みの検討や地域づくりのための活動支援を行いました。

(1) 総合相談

「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を行いました。

(2) 各事業との連携

- ① 事業における職員の気づきを話し合える場の確保(月2回)
- ② 専門職としての力量を高めるための研修、学習の場の確保(外部・内部研修の活用)

(3) 新しい仕組みの検討

- ① 地域活動の創出支援(港北区みんなの助成金 小規模集いの場区分の新設)
- ② 生活圏での活動支援(身近な地域の居場所立ち上げ支援、地域食堂立ち上げ支援など)

6 各種ネットワークへ参画

地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画し、協働しながら専門機関としての支援体制を構築しました。本会の視点を活かし、個別の支援課題から地域の支援課題の抽出へつながるよう努めました。

(1) 各種連絡会、ネットワーク会議

- ① 港北区地域作業所連絡会
- ② 港北事業者連絡会「ガンバ港北」
- ③ 港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会
- ④ 港北区高齢者虐待防止連絡会
- ⑤ 港北区キャラバンメイトのつどい
- ⑥ 幼保小連携会議
- ⑦ 地域ケア会議(区レベル)
- ⑧ 港北区子ども若者支援団体交流会

(2) 港北区地域自立支援協議会

事務局として協議会に参画し、全体会や研修部会の運営の支援を通じ、区内の障害者支援施設との連携を図るとともに、地域における障害者等への支援体制に関する課題について把握しました。

Ⅲ 地域の福祉力の向上

1 地区社会福祉協議会への支援【重点】

<ひっと つながる-1>

住民に一番身近な社協である地区社協の活性化と住民への理解促進、住民に信頼される地区社協運営の支援を行いました。また、地域活動を支援するための食品寄付の仕組みの実施や、ネットワークによって広がる地域のつながりづくり等をテーマとしたセミナーを開催しました。

(1) 区域での検討・共有の場・機会の設定

① 会長・事務局長合同会議(地区社会福祉協議会分科会)(年4回)

※必要に応じて集合型とオンライン型の併用による開催としました。

② 事務局長会議(年1回)

※年3回の開催を計画していましたが、うち1回は情報交換会としてより充実した意見・情報交換の場とし、別の1回については地区社協セミナーとあわせた開催としました。

③ 情報交換会(会長・事務局長合同開催 年1回)

各地区における地域活動の再開や担い手不足等についての現状と課題について、情報交換を行いました。

④ 会長・事務局長あて定期通信(本会の取組や地域情報など)の発行(年12回)【再掲】

(2) 各地区の取組状況の確認や課題共有・検討

① 随時 各地区の会議・事業などへの参画

② 地区社協役員と本会事務局との懇談会 (13 地区にて実施/1月15日～2月5日)

③ 地区社協状況書の作成と活用

④ SNSを活用した食品配分の仕組み「こうほく たべまる」運用

対象 9団体

配信回数 10回 (191パッケージを配分)

(3) 地区社協活動に関する広報・啓発

① 地区社協ホームページ

区社協ホームページ内に設けている地区社協ページを活用し、地域からの情報発信を支援(希望する地区社協)

② 地区社協リーフレットの改訂

(日吉地区、綱島地区、大曽根地区、菊名地区、篠原地区、城郷地区、新羽地区、新吉田地区、高田地区)

(4) 研修の実施

- ① 新任地区社協役員を対象とした研修（6月7日 参加者9名）
- ② 地区社協セミナー「ネットワークから広がる地区社協活動」（2月14日 参加者40名）



地区社協セミナー
「ネットワークから広がる地区社協活動」

■ 地区社協会長・事務局長合同会議 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	4月20日 ① 合同会議 会長 11名 事務局長 12名 ② 事務局長会 11名	1 正副分科会長の選出について 2 港北区社会福祉協議会理事及び評議員候補者の推薦について 3 地区社協活動費(市社協補助金)について 4 ひっとプラン港北地区別計画推進にかかる事務費の助成について 5 地区社協状況書について 6 賛助会員 会員募集にかかる運動について 7 令和5年度 地区社協事業助成金について 8 令和5年度 区社協における地区社協支援の取組について 9 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 地区社会福祉協議会 総会開催状況について ・地区社協新任研修について ・令和5年度 区社協事業計画について ・港北区社会福祉協議会 事務分掌 ② 事務局長会では「担い手不足」をはじめとする課題について意見交換
2	6月29日 合同会議 会長 13名 事務局長 12名	1 港北区社会福祉大会顕彰候補者の推薦について 2 令和5年度 港北区社会福祉協議会 正会費の納入について 3 令和5年度 地区社協事業助成金(賛助会費)の交付について 4 令和5年度 地区社協新任研修について 5 令和5年度 総会開催状況について 6 各地区の取組方針について 7 港北区社会福祉協議会 令和4年度事業報告・決算概要
3	11月16日 合同会議 会長 12名 事務局長 11名	1 地区社協事業助成金(第2期)交付について 2 地区社協役員と区社協事務局との懇談会について 3 来年度の区社協における地区社協活動支援について 4 令和5年度地区社協セミナーについて

	(内オンライン参加1名)	5 年末たすけあい運動「配分」に関する検討について 6 その他 ・「ひっとプラン港北」地区計画ニュース等の作成支援 ・地区社協活動費について ・「ふくしのまど」秋号について ・港北区社協 R5年 11 月のお知らせ
4	2月14日 事務局長会議 【地区社協セミナー開催時】	1 令和6年度 港北区社協賛助会員運動について 2 【報告事項】 令和5年度 年末たすけあい募金実績額・配分額一覧
5	3月21日 合同会議 会長10名 事務局長11名	1 地区社協役員と区社協事務局との懇談会結果について 2 地区社協セミナーについて(ご報告) 3 令和5年度 地区社協事業助成金の交付について 4 年末たすけあい配分並びに募金結果について 5 令和6年度 地区社会福祉協議会総会日程について 6 区社協ホームページ上での情報共有について 7 「よこはまの地区社協活動」について 8 その他 ・令和6年度 地区社協関係会議日程 ・港北区社会福祉協議会R6. 3月のお知らせ

■地区社協新任研修 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	6月7日 9名	1 社会福祉協議会(社協)とは 2 地区社協とは 3 港北区社協とは 4 港北区社協と各地区社協の協働 5 組織運営と予算管理

■地区社協情報交換会 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	9月21日 19名	1 情報交換 ・地域活動の再開にあたって ・担い手不足について ・活動団体同士の情報交換会について 2 その他

■地区社協セミナー ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	2月14日 40名	「ネットワークから広がる地区社協活動」 講師:渡辺裕一氏(武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授) ・グループワーク ①地区社協の組織運営の課題とは? ②組織を作ること、一緒にやることの意味は? ③誰・どこと組織をつくるか?

2 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の推進【重点】

<ひっとプラン>

「ひっとプラン港北」は「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、住民と関係団体、行政などが連携して地域の福祉課題の解決に取り組む、助けあいや支えあいのある地域づくりを進めるための計画です。令和5年度は、第4期計画(5か年計画)の3年目として、区計画、地区計画の取組みを推進しました。

(1) 令和5年度の取組

①第4期区計画および地区計画の推進

区計画推進のため、「ひっとプラン港北」策定・推進会議および事務局会議を開催しました。各地区計画の推進会議に随時出席し、計画推進を支援しました。

②人材の発掘・確保のための取組の検討

令和4年度に開催した「あなたのイイね！伝えよう ～まちの素敵な取組コンテスト～」をもとに、港北区の地域活動の魅力を発信する啓発動画を作成しました。

③区民意識調査の実施

実施期間:10月6日から10月20日まで

(2) 推進体制と推進の取組

	推進体制	推進の取組
区計画	①「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催(7月5日、2月14日) ②「ひっとプラン港北」事務局会議の開催(月2回程度)	①区域の計画推進
地区計画	①地区計画サポートスタッフ会議への参加(随時) ②地区推進会議への参加(随時)	①地区計画推進・策定費の助成 ②地区計画各種事業、取組などへの参加協力

(3) 広報啓発活動

①地区計画ニュースの発行

令和5年度地区計画ニュースを発行しました。

②区民フォーラムの開催【再掲】

「このまちが好き！～子どもからつながる、みんなのちょっとイイ関係～」を開催しました。

開催日・場所:11月2日 港北公会堂

動画配信:1月10日～

③動画配信などを通じた周知

令和4年度開催した「あなたのイイね！伝えよう～まちの素敵な取組コンテスト～」をもとに、港北区の地域活動の魅力を発信する啓発動画を作成し、YouTube 広告により配信しました。

3 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】

＜ひっと つながる－1、とどく－1＞

本会の目指す「身近な地域のつながり・支えあい」を推進するため、地域ケアプラザと連携した地域支援を行いました。本会の持つ区域のネットワークや強みを活かし、一人ひとりの生きづらさや困りごとに対して必要な支援を行うための方針の検討や、地域アセスメントを共有することで、地域のニーズ把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

(1) 推進体制

①地域ケアプラザ定例カンファレンスへの参加

②地域ケア会議や協議体などへの参加・協力

(2) 地域ケアプラザとの連携

①地域活動交流コーディネーター連絡会の定例開催(月1回)

②2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援

③日常的な活動支援および協力



高田おでかけプロジェクト勉強会
※高田地域ケアプラザとの共催



新羽オレンジの輪プロジェクト
※新羽地域ケアプラザとの共催

④スキルアップのための研修会の実施

- ・「今更聞けないSDGs」 8月22日 参加者18名 会場:区福祉保健活動拠点
- ・「地域でつくるこどもたちの居場所」 10月24日 参加者13名 会場:区福祉保健活動拠点



地域活動・交流コーディネーター研修
「今さら聞けないSDGs」



地域活動・交流コーディネーター研修
「地域でつくるこどもたちの居場所」

(3)コミュニティソーシャルワーカーとしての資質向上

- ①地区別・業務別課題の検証と対応についての業務ミーティングの実施
- ②外部研修、会議への参加

4 生活支援体制整備事業の推進

<ひっと ひろがる-1、とどく-1>

高齢者がいつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるよう、生活上の困りごとやその解決に向けた方策について、住民や事業者など様々な方と検討しました。また、身近な地域での助けあいの仕組みづくりや支える人・団体の支援に努めました。

健康づくりや介護予防などに効果的な「通いの場等」への支援においては、地域の状況や取組経過、関わる地域住民などの思いをふまえサポートを行いました。

事業推進のため本会に配置されている1層生活支援コーディネーターは、地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーターと協力・連携しながら、取組を進めました。

(1)課題解決に向けた取組・推進体制

- ①横浜市生活支援体制整備事業推進会議への参加(月1回)
- ②港北区生活支援体制整備事業推進会議(5月29日)
- ③事務局会議(月1回)
- ④様々な主体との協議の場の設定と連携促進

(2)2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援【再掲】

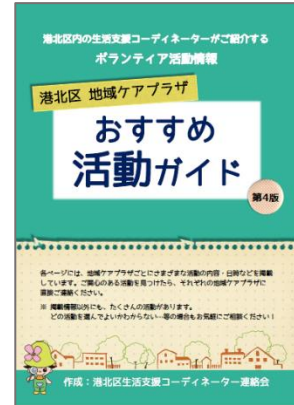
- ①港北区2層生活支援コーディネーター連絡会の開催(月1回)
各圏域での取組共有・検討、連絡会を主体とした取組(事業)の検討、関係会議報告、情報提

供ほか

②連絡会を主体とした取組(事業)の支援

○講座『『知る活』から『やる活』へ～ボランティア活動がちょっと気になる貴方へ～』

9月29日 参加者19名 会場:港北区福祉保健活動拠点



「おすすめ活動ガイド 第4版」

○「おすすめ活動ガイド 第4版」作成

○スキルアップのための取組:各地域ケアプラザ「連携に関する事例」の共有

③各地域ケアプラザ圏域での取組支援・日常的な活動支援および協力

④Ayamu(地域活動・サービスデータベース)のWeb版および区内地域活動や「通いの場」等の情報冊子「きょういく・きょうようガイド」作成支援

(3)新たな社会資源や人材発掘に関する取組・支援

①介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の活動支援・相談対応

・継続活動団体への支援(9団体)

・北部3区(港北・緑・都筑)サービスB活動団体情報交換会の開催

(1月30日 参加者22名)

②地域活動などの担い手発掘のための取組

・講座『『知る活』から『やる活』へ～ボランティア活動がちょっと気になる貴方へ～』実施【再掲】

・「地域支え合いドライバー支援講習」開催協力(横浜市都市整備局)

(11月5日・14日・18日(全3回) 参加者13名)

・「ボランティアしてみたい人相談会」開催協力(港北図書館・港北区区民活動支援センター)

(3月21日 参加者35名)

③様々な「通いの場」づくり・運営の支援

新規立ち上げ相談、継続のための運営支援(相談対応)等

(4)広報・啓発

ホームページやSNSを活用した地域活動などの周知

5 地域の中の居場所支援事業

＜ひっと ひろがる－1、つながる－1、2、3、とどく－1＞

世代を問わず誰もが参加できる交流の場・機会を増やすため、地域の実情にあわせた居場所の立ち上げや活動を継続するための支援を行いました。

(1) みんなの居場所支援事業

- ①運営支援
- ②コロナ特例として「みんなの居場所 継続運営支援助成」実施

区分	申請事業	団体名
新規立ち上げ事業	義務教育、高等部卒業の障害児者、余暇活動の支援	スマイリー
新規立ち上げ事業	スポーツ(ボッチャ)を通じたコミュニケーションづくり	樽町かがやきグループ スポーツクラブ

(2) こどもの居場所支援事業

- ①こどもの居場所などの区内活動状況調査(2回)
- ②「子ども若者支援団体交流会」への支援
- ③相談対応など



子ども若者支援団体交流会(2月2日)

(3) その他、通いの場等への支援

- ①地域からの相談対応および立ち上げ支援
- ②検討・協議の場への参画
- ③地域向け講座・研修などへの協力
- ④ホームページを活用した活動などの周知



企業の社員食堂を利用したこども食堂
(試行実施への協力)

6 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金による活動支援

<ひっと ひろがる-2>

「港北区ふれあい助成金」「港北区みんなの助成金」を通じ、区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動などへの支援を行いました。また、新たな地域課題に対応するための支援の仕組みについて新設区分をモデル実施しました。

助成規模 18,979,000 円

助成団体 201 団体 ※別紙「配分団体一覧表」(3月末時点)

港北区ふれあい助成金・みんなの助成金審査会

開催日	主な内容
6月26日 委員6名	1 委員長の選出 2 令和4年度 港北区ふれあい助成金・みんなの助成金報告 3 令和5年度 港北区ふれあい助成金・みんなの助成金について 4 令和5年度 助成金の審査について 5 港北区みんなの助成金区分新設について
3月8日 委員6名 【書面開催】	1 令和5年度配分実績及び令和6年度配分予定(案)について 2 令和6年度助成金実施要領(案)について

7 福祉保健活動拠点の運営

<ひっと ひろがる-1>

会議や研修・事業実施の場の提供を通じて、地域活動の支援を行うとともに、地域ニーズの把握に努め、住民や関係機関とともに課題解決に向けて取組みました。また、区民利用施設の指定管理者として、より公平・公正なサービスの提供と利用者ニーズに即した運営、施設間のネットワークづくりに努めました。

(1) 登録団体・利用件数

登録団体:125 団体、稼働率:45.9%

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用件数	2,380	2,131	1,740	1,503	2,581

(2) 場の提供を通じた関係性の構築・活動支援

利用調整会議(年2回)やアンケートを通して、登録団体との情報交換を行いました。また、拠点

館内に設置してある配架用ラックを活用し、様々な活動の紹介や情報提供を行いました。

(3) ホームページや SNS などを活用した利用促進

月末に拠点貸室の空き状況を本会 HP や X(エックス(旧ツイッター))で公開しました。

(4) 利用調整会議の開催(10月・2月)

利用団体同士の情報交換、利用についての話し合いを対面で行いました。

(5) 関係機関および地域との連携

施設間連携会議(12月)へ参加し、区役所、関連施設との連携、情報交換について話し合いました。

8 「食」を通じた地域活動および暮らしの支援

<ひっと ひろがる-1、つながる-1、とどく-1>

食品ロスの軽減や助けあいの気持ちで個人・団体・企業などから本会に寄せられた寄付品(食品)を必要な地域活動や個人に届ける支援を継続しました。

(1) 受入れた寄付品(食品)の適正な管理

(2) 地域活動の支援

【再掲】「こうほく たべまる(SNS を利用した配分の仕組み)」継続による地区社協と地域活動、本会の連携を図りました。

(3) 個人の暮らしの支援

生活福祉資金貸付事業など本会相談者への貸付資金が交付されるまでのつなぎや、貸付事業で対応できない生活困窮者を関係機関と連携しながら相談対応していくための支援方法の一つとして食支援を実施しました。実施にあたり、区役所や地域ケアプラザなどの支援機関、民生委員児童委員や主任児童委員などの支援者、また本会会員との連携により相談者へお渡ししました。

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施件数	176	102	96	85	32

Ⅳ ボランティア活動の推進

1 港北区ボランティアセンターの運営

<ひっと ひろがる-1>

個人や団体を対象にボランティアに関する相談対応や情報提供、活動先の紹介などを行いました。また、ボランティアコーディネーション(※)の視点から、ボランティアをしたい個人・団体と、ボランティアを求めている個人・団体からの多様な相談を受け止め、活動などをコーディネートしました。さらに、地域で活動する人材の発掘や活動の場の創出、身近なつながりづくりなど、福祉に対する意識啓発を行い、区域での福祉力向上に努めました。

福祉保健活動拠点に設置している「港北区ボランティアセンター」と西部方面ブランチとして運営している「やすらぎの家」との連携も図り、ボランティア活動の推進に取り組みました。

ボランティア個人や団体が安心安全にボランティア活動を行えるように、ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険などの取扱いを行いました。

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催(3月)

令和5年度事業報告と令和6年度事業計画の説明、善意銀行の配分について審議しました。

(2) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

区ボランティアセンターのブランチとして、主に区西部方面を中心としたボランティアセンターの運営を行いました。

- ①主に西部方面を中心としたボランティアコーディネート(月・水・金)
- ②みんなの居場所としての開館(月・水・金)
- ③「やすらぎの家」運営会議の開催(年6回)
- ④小学生・中学生に向けた福祉講座・体験の実施(7月24日、25日 参加者18名)
- ⑤コーディネーター勉強会の開催(1月23日)

(3) ボランティア入門・育成講座の企画・実施

①音声訳ボランティア初級者講座

開催日 1月～3月(全8回) 参加者13名 ※事前説明会を12月に開催

講師 港北録音グループ・視覚障害当事者



②ボランティアをしてみたい人相談会【再掲】

開催日 3月21日 参加者35名

講師 港北区区民活動支援センター、港北区社会福祉協議会
港北土木事務所公園愛護会等コーディネーター



(4) ボランティア団体等との連携

① 港北区ボランティア連絡会定例会への参加

定例会の参加および、ボランティアの広場、ボランティアの集いの開催に協力しました。

② 各地区ボランティア連絡会定例会への参加

③ 地域のボランティア団体との連携

④ 移動情報センターガイドボランティア事業との連携

新規ボランティア登録者 32 名のうち6名がガイドボランティア事業ガイドボランティアとして登録

(5) 広報・情報提供

① 「ふくしのまど」の発行【再掲】

ボランティア情報や地域福祉に関する情報、活動などについて発信

② ホームページや SNS を通じたボランティア情報の発信

本会ホームページや SNS を通じてボランティア情報を届けました。

③ ボランティアニーズ情報紙の発行(年6回)

(6) ボランティアコーディネータ力の向上

① ボランティアコーディネーター定例会(事例検討 月1回)

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
紹介件数	29	18	20	7	65
コーディネート率	57%	56%	62%	64%	68%
登録人数(個人)	347(34)	308(35)	273(39)	619(9)	612(54)
登録グループ数	68(7)	64(1)	63(2)	88(1)	87(5)

※ボランティアコーディネーション

ボランティア活動の意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が相互に対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整し、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする働きかけ。

2 港北区災害ボランティア連絡会の運営

<ひつと とどく-2>

港北区災害ボランティア連絡会事務局として、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力しました。連絡会会員が地域防災拠点運営に携わる上での共通理解を深めました。

区役所や横浜市災害ボランティア支援センターとの情報共有を行いました。

(1) 災害ボランティア連絡会

総会(5月)

役員会(年 12 回)

定例会(年 10 回)

(2) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(シミュレーション訓練)

災害情報システムを用いて当日受付・マッチング・送り出し・活動報告の訓練を実施
12月10日 参加者16名

(3) 災害や防災に関するセミナーの開催協力

「災害時の備え大丈夫ですか ～あなたはトイレを我慢できますか 第2弾～」
1月28日 参加者29名

(4) 災害ボランティア連絡会ニュースの発送(年12回)

3 福祉教育・福祉啓発の推進

<ひっと ひろがる-2>

福祉意識の醸成、次世代育成を目的に学校や地域、企業からの依頼により福祉教育・福祉啓発を行いました。

(1) 福祉教育・福祉啓発相談調整

体験学習や講座に関する相談に対応し、企画や協力者紹介などを行いました。依頼者のニーズに柔軟に応えるとともに、本会の福祉教育の取組みを周知しました。

対応件数 22件

(2) 機材の貸出・提供

福祉体験で使用する機材(車いすや高齢者疑似体験セットなど)を貸出しました。

機材貸出件数 16件

(3) 「いま、わたしにできること」～ふだんのくらしのしあわせ体験～

ふくしとはなにかを学び、子どもの成長の糧(共に生きる力)となるよう、地域福祉活動団体とともに講座を開催しました。活動者の想いや活動内容を見聞きすることで子どもたち自身が「ふくし」について考える機会を設けました。

令和5年度 福祉教育対応一覧

No	地区	学校・団体名	対象	人数	実施内容	協力者	実施日
1	日吉	下田小学校	1～6年生 全校生徒	-	手話サークルとの交流	※講師紹介	
2	日吉	駒林小学校	1～2年生 3クラス	180	人権研修～ポッチャ体験を通して～	民生委員児童委員・主任児童委員、 横浜市スポーツ協会	12月5日
3			3～4年生 3クラス	160	人権研修～視覚障害当事者との交流を通して～	視覚障害当事者	10月31日
4			5～6年生	180	人権研修～感覚の違い～	特別支援教育コーディネーター	12月5日
5	網島	北網島小学校	2年生 3クラス	90	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	10月14日
6			5年生 3クラス	110	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	10月14日
7			6年生 1クラス	34	総合学習～視覚障害理解をきっかけに～	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	10月10日
8	大曽根	大曽根小学校	2年生 5クラス	185	地域交流～ペタンク体験を通して～	大曽根地区スポーツ推進委員、 樽町地区スポーツ推進委員、 大曽根小応援団、保護者	12月1日
9			3年生 5クラス	154	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	1月22日
10			4年生 1クラス	31名	総合学習	視覚障害当事者、 区社協(プログラム担当)	①9月14日 ②11月24日
11			4年生 1クラス	30名	①②③④⑤高齢者とのかわり	①②③④⑤オレンジの会	①10月19日 ②11月7日 ③11月16日 ④12月6日 ⑤12月22日
12	菊名	菊名小学校	4年生 1クラス	29	総合学習	視覚障害当事者、ガイドヘルパー、 区社協(プログラム担当)	①7月12日 ②10月26日
13	大倉山	大豆戸小学校	4年生 1クラス		総合学習～点字体験、地域の中の工夫を知る～	※点字体験セット貸出	
14		太尾小学校	4年生 4クラス	116	視覚障害理解や誘導の方法について学ぶ	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	12月1日
15			5年生 3クラス	122	発達障害やその特徴や思いについて理解を深める	特別支援教育コーディネーター	12月14日
16			6年生 4クラス	129	障害理解	身体障害当事者(義足)	12月11日
17		大綱小学校	2年生 5クラス	146	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	11月8日
18		篠原中学校	3年生 5クラス	200	高齢者理解研修	区社協(プログラム担当)	2月22日 ①～③回
19	区内	やすらぎの家	小学3年生～ 中学3年生	①12名 ②6名	①串いす・アイマスク体験&ホットケーキづくり ②手話講座	①視覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協 ②聴覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協	①7月24日 ②7月25日
20	区内	横浜労災看護専門学校	2年生	73	①フィールドワーク～地域を知る～ ②グループ発表	区内23活動団体、 区社協(プログラム担当)	①10月17日 ②10月23日
21	区内	夏のふくし体験	小学5年生～ 高校生	4	「いま、わたしにできること」～ふだんのくらしの しあわせ体験～あなたのまちの「ふ・く・し」の活動 をのぞいてみよう	①文の友(手紙・絵手紙ボランティア) ②ホットカフェ小机 ③もろおか里山倶楽部 ④高田コミュニティカフェゆずの樹	①8月1日 ②8月2、9日 ③8月4日 ④8月8日
22	企業	株式会社 ASFON TRUST NETWORK	新採用社員	6	高齢者理解研修	大豆戸地域ケアプラザ、 区社協(プログラム担当)	4月18日

4 寄付文化の醸成に向けた取組み

<ひっと ひろがる-1、つながる-1>

多くの寄付金をいただくとともに、預託品として車いすやおむつ、ぬりえ台紙などをお預かりし、必要な方へお渡ししました。また、寄付者と地域の活動団体をつなぎ、資金や物品の提供だけでなく顔の見える関係づくりに努めました。

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
寄付金件数	33	35	32	29	35
預託品件数	20	24	23	25	2
寄付金総額(円)	2,884,933	1,132,406	1,248,386	6,754,571	1,634,346

たくさんのご寄付をありがとうございました



港北フラレファ



明治安田生命保険相互会社

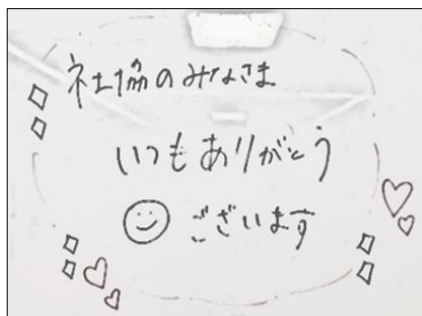


愛コープ港北事業所

必要としている方々へお渡しいたしました



いろえんぴつ



港北区内の学習会



わーくす太尾

令和5年度善意銀行 預託金品状況

【金銭】

	預託日	寄付者	内容
1	4月5日	横浜市港北区仏教会	50,000
2	4月20日	個人匿名	5,000
3	5月19日	個人匿名	5,000
4	6月5日	ゆとりのカラオケ	13,700
5	6月15日	穂垣 陽子	1,500,000
6	6月15日	緑が丘小学校昭和35年卒6年1組クラス会	7,000
7	6月20日	個人匿名	5,000
8	6月26日	フラ港北レファ	55,298
9	7月13日	ユニ株式会社 “小さな善意で大きな愛の輪” 運動アピタ横浜綱島店	86,170
10	7月13日	イトーヨーカドー労働組合綱島支部	6,000
11	7月20日	個人匿名	5,000
12	8月21日	個人匿名	5,000
13	9月20日	個人匿名	5,000
14	10月20日	個人匿名	5,000
15	10月20日	港北邦楽協会	24,944
16	11月10日	角田 きよ子	500,000
17	11月16日	港北芸能協会	11,745
18	11月20日	個人匿名	5,000
19	11月22日	港北三曲会	30,000
20	11月27日	老人福祉センター 菊名寿楽荘	41,293
21	12月14日	PCぱれっと	10,500
22	12月20日	個人匿名	5,000
23	12月22日	個人匿名	100,000
24	12月25日	イトーヨーカドー労働組合綱島支部	7,000
25	12月27日	リーダー電子株式会社	100,000
26	1月19日	個人匿名	5,000
27	1月19日	個人匿名	5,000
28	2月9日	団体匿名	38,353
29	2月19日	港北区ダンススポーツ連盟	20,000
30	2月20日	個人匿名	5,000
31	3月20日	個人匿名	5,000
32	3月26日	中沢 文明	50,000
33	3月29日	株式会社横浜アリーナ	167,930
		合計	2,884,933

令和5年度善意銀行 預託金品状況

【物品】

	預託日	寄付者	内容
1	4月3日	匿名個人	アルコールジェル
2	5月11日	M.M	車いす、バギー、座位保持椅子
3	6月7日	直井 礼子	食品
4	6月28日	匿名個人	紙おむつ
5	9月4日	匿名個人	紙おむつ
6	10月5日	匿名団体	使い捨て手袋
7	11月20日	一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団	ペーパークラフト 「マルチディスプレイスタンド」
8	11月27日	にっぽらっぱフェスティバル	生活用品、衣類
9	12月5日	明治安田生命保険相互会社 新横浜支社	塗り絵台紙
10	12月8日	一般社団法人バンクフォースマイルズ	コスメギフトセット
11	12月27日	匿名個人	洗濯洗剤
12	12月28日	匿名個人	紙おむつ、パッド
13	1月11日	匿名団体	子ども用衣類
14	1月30日	杉本 孝男	筆記用具
15	1月31日	小林 陵二	紙おむつ、介護食
16	2月3日	匿名個人	生理用品
17	2月19日	匿名個人	歩行器
18	2月28日	加藤 恵一郎	歩行器、杖
19	3月6日	匿名個人	靴下
20	3月26日	明治安田生命保険相互会社 新横浜支社	塗り絵台紙

V 信頼される組織運営

1 組織体制の整備【強化】

＜ひっと ひろがる—1＞

本会は会員組織として、地域福祉の活動に携わっている様々な団体や機関(地区社協、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、福祉施設、行政機関など)が正会員として入会し、知恵と力と資金を出し合って福祉のまちづくりを推進しました。

(1) 会員組織の拡充

会員数

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
会員数	224	228	235	245	252
(新規)	(0)	(1)	(0)	(0)	(2)

会員内訳

正会員種別		団体数
第1種	公私社会福祉事業施設及び団体	56
第2種	民生委員・児童委員 ※民生委員・児童委員は個人会員として加入	23
第3種	地区社会福祉協議会	13
第4種	地区連合自治会町内会	13
第5種	当事者団体	37
第6種	ボランティア団体	38
第7種	その他社会福祉に関係ある団体 ※港北保護司会は個人会員として加入	30
第8種	社会福祉関係行政機関	12
第9種	学識経験者	2

(2) 会員セミナーの開催

正会員を対象とした地域福祉活動に有効な講座の開催

開催日	内容	参加者
11月21日	対人援助基礎研修 ※ウイリング横浜と共催 講師 稲富 正治 氏 (川崎こころのケアセンター センター長)	44名 (うち本会会員9名)

(3) 会員向け情報発信

本会主催の正会員向けセミナーや寄付物品チラシ、活動支援情報などの情報を発信しました。

(4) 分科会活動の活性化

- ① 連合自治会町内会分科会
- ② 民生委員児童委員分科会
- ③ 地区社会福祉協議会分科会 ※Ⅲ-1 掲載
- ④ ボランティア・市民活動分科会 ※V-3 掲載
- ⑤ 在宅福祉分科会 ※V-4 掲載
- ⑥ 障害者セーフティネット分科会 ※V-5 掲載
- ⑦ 保育所分科会 ※V-6 掲載

2 信頼性の高い組織運営

社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンスを強化するとともに、地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深め、地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により公益的な取組みを推進しました。

(1) 理事会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月8日 理事(10)監事(1)	1 令和4年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 評議員選任・解任委員会 委員の選任について 4 評議員選任・解任委員会の招集について 5 定時評議員会の招集について 6 定款の変更について 7 債権の購入について	全て原案 どおり承認
2	6月23日 理事(8)監事(2)	1 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会会長及び副会長の選任について 2 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会顧問の選任について	全て原案 どおり承認
3	10月13日(書面審議 【決議の省略】) 理事(11)監事(3)	1 令和5年度 第1回補正予算案について 2 処務規程の一部改正について 3 令和5年度 第2回評議員会の招集について	全て原案 どおり承認

4	3月7日 理事(11)監事(1)	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度 第2回補正予算案について 2 令和6年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 3 評議員選任候補者の推薦について 4 令和5年度 第2回評議員選任・解任委員会の開催について 5 令和5年度 第3回評議員会の招集について 6 令和6年度 役員等の賠償責任保険契約締結について 	全て原案 どおり承認
---	---------------------	--	---------------

(2)評議員会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月23日 評議員(18)	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和4年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会 理事・監事の選任について 3 定款の変更について 	全て原案 どおり承認
2	10月24日 評議員(18)	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度 第1回補正予算案について 2 理事・監事・評議員選任規程の一部改正について 3 経理規程別紙「会計の区分一覧」の一部改正について 	全て原案 どおり承認
3	3月22日 評議員(15)	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度 第2回補正予算案について 2 令和6年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 	全て原案 どおり承認

(3)監事会 ()は出席者数

	開催日	主な内容	結果
1	5月29日 監事(2)	令和4年度 港北区社会福祉協議会事業執行状況、経理状況及び財産状況の監査	正しく適正 であると認 める

(4)評議員選任・解任委員会 ()は出席者数

	開催日	主な内容	結果
1	6月18日(書面審議 【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	全て原案 どおり承認

2	3月15日(書面審議 【決議の省略】) 委員(4)	評議員の選任について	全て原案 どおり承認
---	---------------------------------	------------	---------------

(5) 三役会
実施なし

- (6) 部会
- ① 地域部会
 - ② 当事者部会
 - ③ 専門部会
 - ④ 学識部会

(7) 委員会・各種会議

- ① ボランティアセンター運営委員会 ※Ⅳ-1掲載
- ② 港北区ふれあい助成金審査会・港北区みんなの助成金審査会 ※Ⅲ-6掲載
- ③ 港北区年末たすけあい配分委員会
- ④ 顕彰審査会
- ⑤ 評議員選任・解任委員会
- ⑥ 業者選定委員会
- ⑦ 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」策定・推進会議 ※Ⅲ-2掲載
- ⑧ 移動情報センター推進会議 ※Ⅱ-3掲載

3 ボランティア・市民活動分科会

<ひっと つながる-1>

生涯学習や子育て・高齢者支援など、幅広い分野のボランティア・市民活動を行う団体が集まる特色を活かした取組を行いました。分科会会員が主体となり、共通の課題解決や活動活性化のための講座などを行うことで、よりニーズに即した内容とし、活動の充実を図りました。

(1) 定例会の開催 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月21日 8名	1 令和5年度の活動について (1) バルーンアート講座について 2 各団体より

2	5月 19日 9名	1 令和5年度の活動について (1)バルーンアート講座について 2 各団体より
3	6月 16日 9名	1 令和5年度の活動について (1)バルーンアート講座について 2 各団体より
4	7月 21日 7名	1 令和5年度の活動について (1)バルーンアート講座について 2 第2回福祉ボランティア・市民活動部会について 3 各団体より
5	9月 15日	メールにて情報交換を実施
6	10月 20日 6名	1 令和5年度の活動について (1)ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より
7	11月 17日 5名	1 今後のボランティア・市民活動分科会の運営について (1)第6回 ボランティア・市民活動分科会より (2)区社協会員とボランティア分科会会員について (3)今後の分科会運営について(意見交換) 2 各団体より
8	2月 16日 7名	1 ボランティア・市民活動分科会について(ふりかえり) (1)分科会 定例会 (2)講座 (3)PR チラシ(ほくほくフェスタにて配布・掲示) 2 ボランティア・市民活動分科会運営について(意見交換) 3 各団体より
9	3月 15日 6名	1 令和6年度 ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より

(2) 講座の開催

バルーンアート講座

～「バルーンアートを学ぼう！」日々の活動でもっと活躍できるスキルを身に着けよう！～

開催日:6月 24日 参加者 19名

場所:港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容:地域の中で活躍される個人や団体を対象に、分科会の活動や分科会会員の活動の発信とバルーンアートのスキルを身に着けてもらい、さらなる活躍のきっかけとなることを目的にバルーンアート講座を開催しました。



(3) 分科会活動および分科会会員紹介チラシの作成

分科会会員の活動の紹介と分科会参加の案内としてチラシを作成し、港北区社会福祉大会にて配布しました。



4 在宅福祉分科会

<ひっと つながる-2>

年齢や障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、地域のボランティア団体や福祉施設が連携して、ネットワークづくりを進めました。

「法律や制度に基づいて提供される公的なサービス」と「NPO やボランティア等が行う支援や活動」が連動した地域の中での支えあいの仕組みづくりや、コロナ禍における活動のあり方や運営の工夫などについて共有・検討を行いました。

(1) 構成メンバー

ボランティア団体、高齢者施設、ワーカーズコレクティブ、企業など

(2) 定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月24日 8名	・災害時・非常時の各団体の対応について
2	7月26日【延期】	・見学会「ナーシングプラザ港北」
3	9月27日 12名	・勉強会「認知症について」
4	11月22日 9名	・見学会「ナーシングプラザ港北」

5	1月31日 9名	・勉強会「介護保険について」
6	3月27日 7名	・今年度の振り返り ・次年度に向けて

5 障害者セーフティネット分科会

<ひとつ つながる-1>

障害当事者団体・支援団体・ボランティア団体などとともに、障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が地域で安心して暮らすためのネットワークづくりを進めました。会員相互の交流や障害理解のための啓発活動を行うほか、港北区地域自立支援協議会と連携して取組みを進めました。

(1) 構成メンバー

当事者団体・家族団体、福祉施設、支援機関など

(2) 役員会 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月21日 7名	・令和5年度の活動について
2	6月16日 8名	・手話講座について ・映画会について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂について
3	10月20日 6名	・映画会の開催概要について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂について
4	12月15日 7名	・役員改選について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂について ・令和6年度の活動に向けて意見交換
5	2月16日 9名	・役員改選について ・映画会について ・令和6年度の活動について

(3) 定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月19日 17名	・活動発表会「きたつなぶどうの会」 港北区地域自立支援協議会について ・令和5年度の活動について
2	7月21日 13名	・活動発表会「港北区聴覚障害者協会」 ・勉強会「水害と福祉避難所」 ・映画会について
3	9月15日 13名	・活動発表会「港北ひまわり会」 ・手話講座の振り返り ・警察との情報交換会について ・リーフレット「災害と私たち」の改訂について
4	11月17日 13名	・活動発表会「視覚障害者福祉協会」 ・警察との情報交換会 ・映画会について
5	1月19日 14名	・活動発表会「あおぞら会」 ・警察との情報交換会の振り返り ・映画会について ・令和6年度の活動に向けて意見交換
6	3月15日 15名	・活動発表会「わーくす太尾」 ・映画会の振り返り ・令和6年度～7年度の役員について ・令和6年度の活動について

(4) イベントの開催

①手話講座はじめての一步～手話で話してみよう！～

7月30日 参加者13名

場所 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容 小学生対象の手話講座

(あいさつ、自己紹介、簡単な単語、会話練習)

②映画「星に語りて～Starry Sky～」上映会

3月10日 来場者128名

場所 港北公会堂

内容 障害理解啓発に関する映画の上映、区内作業所製品の販売

※港北区地域自立支援協議会との共同企画



6 保育所分科会

<ひっと ひろがる-2>

公立・私立保育所の枠を超えたネットワークを活かして、区内の子育てをめぐる様々な課題の共有・解決の場としました。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を設けるとともに、分科会参画団体の拡充を図りました。

(1) 構成メンバー

本会正会員の認可保育所など

(2) 役員会 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月12日 5名	・5月定例会の流れについて ・本年度事業計画について ・7月の定例会の内容について確認
2	7月14日 5名	・7月定例会の流れについて ・9・1月定例会の内容について確認
3	9月8日【中止】	悪天候のため
4	11月13日 5名	・11月定例会の流れについて ・1月定例会の内容について確認
5	1月12日 4名	・1月定例会の流れについて ・評議員の選任について、 ・3月定例会の内容について確認
6	3月8日 5名	・3月定例会の流れについて ・令和6年度事業計画についての確認

(3) 定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月12日 17名	・役員選任について ・令和5年度事業計画の確認 ・7月情報交換会について
2	7月14日 17名	・地域子育て支援団体との情報交換会
3	9月8日【中止】	悪天候のため
4	11月13日 10名	・防災について

5	1月12日 24名	・主任保育士・リーダー保育士向け研修 ・評議員の選任について
6	3月8日 12名	・令和5年度振り返り ・令和6年度の事業計画について

(4) 区内子育て支援団体との交流会の開催(7月14日 定例会にて実施)

区内子育て支援団体より、活動の現状と今後の展望について講義していただきました。講義後、地域別グループに分かれて情報交換会、課題について話し合いました。

(5) 研修会の開催

「主任保育士・リーダー保育士の役割、職員連携、育成について」【再掲】

講師: 千葉恒子

(横浜市園内研修・研究事業サポーター 玉川大学教師教育リサーチセンター指導員)

開催: 1月12日 参加者 24名

7 苦情解決システムの充実

住民が意見・要望を言いやすい環境をつくるとともに、積極的に意見・要望などを聴取し、環境整備や業務改善を行います。苦情を貴重なニーズとして真摯に受け止め、本会の事業推進やサービスの質の向上に努めました。

(1) 窓口満足度調査の実施(11月1日～11月30日 回答数95件)

内容: 職員の対応について、身だしなみ、あいさつについて

満足度 70%

(2) 「ご意見箱」の設置(年間/件数 1件)

(3) 苦情受付件数(年間/件数: 0件)

8 コンプライアンス・リスクマネジメントの推進

コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応を再度見直し徹底しました。また、日常業務でヒヤリハットの報告および事故の原因と改善策について共有を行いました。

(1)職員会議や日常業務でヒヤリハット・事故内容と改善策を共有(朝・夕ミーティングの活用)

(2)外部研修・会議への参加(2回)

(3)自主防災訓練(2回)

9 多様な働き方の推進

働き方改革の実現に向け、働き手のニーズの多様化に対応できるよう時差出勤など勤務調整を行いました。また、ICTの整備および活用を継続し、日常業務の効率化を図りました。当初計画していた在宅勤務の推進については、アフターコロナの活発な地域活動にあわせ取得が難しくなりましたが、状況を見て取得しました。

10 情報公開・個人情報保護制度の運用

社会福祉法の理念に基づき、本会の情報公開制度を適切に利用しながら、透明性・信頼性の高い事業運営を行いました。あわせて個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発と個人情報の保護に努めました。

11 財政運営の適正化

本会活動を進めていくため、賛助会費など自主財源の安定的な確保と財政運営の適正化に努めました。また、広報紙やホームページなどを通じ、本会活動や事業、会費などの活用について広く発信しました。

種別	正会費	世帯会費	賛助会費
会費(円)	1,166,000	4,284,430	16,455,111

1 2 職員の育成

横浜市社協人材育成計画に沿って、常勤・非常勤を含め内部研修や外部研修を活用し必要な知識・技術の研鑽に努め、職員の専門性を高めました。さらに目標管理や人事考課制度を活用して、職員が立場と組織目標を認識して業務に取り組みました。また、社会福祉士相談援助実習の受入れを行い福祉人材の育成に寄与しました。

外部研修〔全社協・県社協主催のみ〕(開催日数)	参加者(名)
社会福祉協議会 新任職員研修会・フォローアップ研修(5日)	1
生活福祉資金(教育支援資金)関連業務研修(1日)	1
かながわライフサポート事業相談支援フォローアップ研修(1日)	1
全国福祉教育推進員研修(1日)	1

1 3 法人運営・経理事務の効率化

クラウドサービス等による情報共有など、ICT の活用により、法人運営および経理事務の効率化を図りました。

- (1) インターネットバンキングの活用(月2回)
- (2) グループウェアの活用による情報共有およびスケジュール管理の効率化
- (3) 出納日の固定化、出納事務の省力化
- (4) 管理データの整理による効率化
- (5) クラウドストレージサービスの活用による情報共有
- (6) データベースシステムの導入による会員管理の効率化

14 団体事務

福祉関係団体の事務局として、各団体の自主的な活動を支援するとともに、相互の連携により、地域福祉を推進しました。

- (1) 神奈川県共同募金会横浜市港北区支会
- (2) 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港北区地区委員会
- (3) 港北区更生保護女性会
- (4) 港北区遺族会
- (5) 港北区「社会を明るくする運動」実施委員会

令和5年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1001	おれんじの会	400,000
要援護者支援	配食	1002	配食よつ葉会	80,000
要援護者支援	集いの場	1003	折り紙を楽しむ会	30,000
要援護者支援	集いの場	1004	フリースペースほっぷ	80,000
要援護者支援	集いの場	1005	篠原台町みどりの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1006	ハッピーママ	80,000
要援護者支援	集いの場	1007	コーヒーボランティアらんらん	80,000
要援護者支援	集いの場	1008	SOW	180,000
要援護者支援	集いの場	1009	まちの縁側「そよご」	45,000
要援護者支援	集いの場	1010	太尾っ子広場	80,000
要援護者支援	集いの場	1011	さつきクラブ	80,000
要援護者支援	集いの場	1012	ふらっと高田	400,000
要援護者支援	集いの場	1013	男の料理教室	80,000
要援護者支援	集いの場	1014	特定非営利活動法人横浜子育て支援グループぽっけ	80,000
要援護者支援	集いの場	1015	なごみの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1016	花しょうぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1017	なごみ会	80,000
要援護者支援	集いの場	1018	「ダンラン」男同志の昼食会	80,000
要援護者支援	集いの場	1019	樽町なごみ食堂	80,000
要援護者支援	集いの場	1020	はなみずき会サロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1021	クローバーカフェKIKUNA	80,000
要援護者支援	集いの場	1022	サロンこもれび	50,000
要援護者支援	集いの場	1023	宮前交流カフェプロジェクト	80,000
要援護者支援	集いの場	1024	菊名南町ボランティアひな菊	80,000
要援護者支援	集いの場	1025	おおそねちびサロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1026	かもめのつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1027	いこいの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1028	サロン・コンフォール南日吉	80,000
要援護者支援	集いの場	1029	師岡こども学習会	80,000
要援護者支援	集いの場	1030	わだねの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1031	元気な笑顔	80,000
要援護者支援	集いの場	1032	コーヒーサロン わいわい城郷	80,000
要援護者支援	配食	1033	水曜ランチ ホットカフェ	300,000
要援護者支援	家事・生活支援	1034	ほっと新吉田	160,000
要援護者支援	配食	1035	綱島東ボランティア	80,000
要援護者支援	集いの場	1036	特定非営利活動法人ポケット	80,000
要援護者支援	集いの場	1037	ちびたる	180,000
要援護者支援	集いの場	1038	りんどうの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1039	スリーA教室 元気！！	40,000
要援護者支援	集いの場	1040	かもみいる運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1041	篠原東福祉部いこいの集い	80,000
要援護者支援	集いの場	1042	子育てサロンはひふへほ	180,000
要援護者支援	集いの場	1043	みんなの広場	50,000
要援護者支援	集いの場	1044	太尾フレンドサロン・いこい	50,000
要援護者支援	集いの場	1045	プラザ城郷	70,000
要援護者支援	集いの場	1046	城郷地区「子供の居場所」実行委員会(たまりBAこづくえ)	120,000
要援護者支援	集いの場	1047	みちくさの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1048	キッチン・いこい	80,000
要援護者支援	集いの場	1049	ボランティア下田	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1050	あやめの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1051	菊名の居場所あったか	300,000
要援護者支援	集いの場	1052	精神保健福祉ボランティアG そら・俳句仲間道灯かり	80,000
要援護者支援	集いの場	1053	クローバー会(クローバーカフェ)	40,000
要援護者支援	集いの場	1054	下田子育て応援会	80,000
要援護者支援	集いの場	1055	子育てサロン「よしだっこ」	120,000
要援護者支援	集いの場	1056	スリーAにっばっば	40,000
要援護者支援	集いの場	1057	WAIWAIみんなの箕輪クラブ	40,000
要援護者支援	集いの場	1058	仲手原南ボランティア夢クラブ	60,000
要援護者支援	集いの場	1059	ベビそね	80,000
要援護者支援	送迎	1060	移動サービスワーカーズコレクティブ らら・むーぶ港北	350,000
要援護者支援	集いの場	1061	城郷ひろば	120,000
要援護者支援	集いの場	1062	こんぺいとうさん	80,000
要援護者支援	配食	1063	綱島西ボランティアグループ	80,000
要援護者支援	集いの場	1064	あったかだ	60,000
要援護者支援	集いの場	1065	こどものへや文庫	80,000
要援護者支援	集いの場	1066	青少年育成支援の会	50,000
要援護者支援	集いの場	1067	子育てサロン たんぼぼにっば	120,000
要援護者支援	集いの場	1068	港北ユーステーブル	80,000
要援護者支援	集いの場	1069	地域食堂ダイニング28	80,000
要援護者支援	家事・生活支援	1070	太尾ふれあいクラブ	160,000
要援護者支援	集いの場	1071	ミニ樽サロン運営委員会	80,000
要援護者支援	配食	1072	やまびこの会	120,000
要援護者支援	集いの場	1073	ほのぼ～の	40,000
要援護者支援	集いの場	1074	篠原北地区民生委員児童委員協議会	80,000
要援護者支援	集いの場	1075	レコードミュージックプラザ	80,000
要援護者支援	集いの場	1076	おおきくなあれ	180,000
要援護者支援	集いの場	1077	新横浜民児協 かもねくらぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1078	大豆戸民児協 まめのきひろば	80,000
要援護者支援	集いの場	1079	すみれのびのび体操	60,000
要援護者支援	集いの場	1080	コミュニティースペース港北うえるびーサロンW.Co路	80,000
要援護者支援	集いの場	1081	子育て支援グループ まーぶる	80,000
要援護者支援	集いの場	1082	学びのサロンとりやまアカデミア	80,000
要援護者支援	集いの場	1083	大倉山地区社会福祉協議会	300,000
要援護者支援	家事・生活支援	1084	港北・家事介護ワーカーズコレクティブ「いずみ」	400,000
要援護者支援	集いの場	1085	風と子どもたち	50,000
要援護者支援	集いの場	1086	カラダづくりサロン鳥山健康大学	80,000
要援護者支援	集いの場	1087	郷づくり濱なかま	80,000
要援護者支援	集いの場	1088	熊野の森もろおかスタイル	120,000
要援護者支援	集いの場	1089	子育て支援W.Co monami	400,000
要援護者支援	集いの場	1090	ミニデイサービス お茶の間	60,000
要援護者支援	集いの場	1091	茶処ま～め～ど	180,000
要援護者支援	集いの場	1092	いきいきの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1093	サロンたる	70,000
要援護者支援	集いの場	1094	ミニデイサービス 西町のつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1095	NPO法人街カフェ大倉山ミエル	400,000
要援護者支援	送迎	1096	コミバス市民の会	300,000
要援護者支援	集いの場	1097	おはなし、な～に？	50,000
要援護者支援	集いの場	1098	お話し聴くとも会	80,000
要援護者支援	集いの場	1099	樽町かがやきグループ スポーツクラブ	40,000
要援護者支援 集計				10,905,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
障害児者支援	障害児者支援	2001	ラポールFC	60,000
障害児者支援	当事者活動	2002	横浜ドリーマーマーメイド	100,000
障害児者支援	当事者活動	2003	横浜レインボー	100,000
障害児者支援	当事者活動	2004	ピアサポート・L	60,000
障害児者支援	当事者活動	2005	ドリーマ・サンワテニスクラブ	50,000
障害児者支援	当事者活動	2006	スイミー	100,000
障害児者支援	当事者活動	2007	横浜ドリーマー アーチェリークラブ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2008	白梅会	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2009	おひさまっ子の会水泳部	100,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2010	港北録音グループ	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2011	フリッパーの会	100,000
障害児者支援	当事者活動	2012	ラポール卓友会	150,000
障害児者支援	障害児者支援	2013	横浜いるかスイミングクラブ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2014	横浜ドリーマーショートテニスクラブ	120,000
障害児者支援	当事者活動	2015	横浜ボッチャ倶楽部	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2016	グループペンギンB	99,000
障害児者支援	当事者活動	2017	高田パソコンクラブ	40,000
障害児者支援	当事者活動	2018	さくらんぼの会	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2019	ウォーターボーイズ	160,000
障害児者支援	障害児者支援	2020	声を楽しむ声楽教室	150,000
障害児者支援	当事者活動	2021	しらゆり会	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2022	めだか会	130,000
障害児者支援	障害児者支援	2023	光る波(シュタイナーを学び障がいを考える会)	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2024	ABM	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2025	こどものためのハチャメチャアトリエ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2026	横浜レジェンド	60,000
障害児者支援	当事者活動	2027	ディスクレイジー	40,000
障害児者支援	当事者活動	2028	グループペンギンA	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2029	障がい児者のよりどころ ふれんど	20,000
障害児者支援	障害児者支援	2030	YOKOHAMA Bay Dream P.S.C	100,000
障害児者支援	障害児者支援	2031	ダンスワークかれん	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2032	水泳同好会サッシュ	60,000
障害児者支援	当事者活動	2033	横浜北部失語症友の会	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2034	ヒップホップダンスクラブ	100,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2035	港北区手話サークルあじさいの会	20,000
障害児者支援	障害児者支援	2036	横浜ひよこ教室 幼児部	100,000
障害児者支援	当事者活動	2037	ラポール倶楽部花みずき	100,000
障害児者支援	当事者活動	2038	ツインバスケットボールを楽しむ会	150,000
障害児者支援	障害児者支援	2039	はっぴいかいと	40,000
障害児者支援	当事者活動	2040	横浜ドリーマーレクリエーションクラブ	200,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2041	33(mimi)サークル	50,000
障害児者支援	当事者活動	2042	横浜ボッチャーズ	40,000
障害児者支援	当事者活動	2043	横浜ドリーマーフライングディスククラブ	40,000
障害児者支援	当事者活動	2044	横浜レッドブリックス	100,000
障害児者支援	当事者活動	2045	スマイリー	40,000
障害児者支援 集計				3,609,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
福祉のまちづくり	-	3001	下田farmers	40,000
福祉のまちづくり	-	3002	ふれあい歌声の会	40,000
福祉のまちづくり	-	3003	公園遊びの会 わくわく	40,000
福祉のまちづくり	-	3004	横浜港北おもちゃドクターの会	40,000
福祉のまちづくり	-	3005	大倉山支えあい祭り実行委員会	30,000
福祉のまちづくり	-	3006	ドルチェ	40,000
福祉のまちづくり	-	3007	NPO法人日吉子育て応援団	40,000
福祉のまちづくり	-	3008	きくなびょんぴょん	40,000
福祉のまちづくり	-	3009	ぞうさんの帽子	40,000
福祉のまちづくり	-	3010	港北おはなし会	40,000
福祉のまちづくり	-	3011	公園あそびの会 おるたん	40,000
福祉のまちづくり	-	3012	アトリエ つくろ	20,000
福祉のまちづくり	-	3013	おはなしキラキラぼっけ	40,000
福祉のまちづくり	-	3014	おひさまたんけんたい	40,000
福祉のまちづくり	-	3015	特定非営利活動法人 精神保健を考える会まいんどくらぶ	30,000
福祉のまちづくり	-	3016	子どもの居場所を考える会	30,000
福祉のまちづくり	-	3017	日吉に子育てに関するネットワークを作る会	20,000
福祉のまちづくり	-	3018	港北文庫のつどい	30,000
福祉のまちづくり	-	3019	特定非営利活動法人 青少年育成開発協会	40,000
福祉のまちづくり	-	3020	日吉キッズステーション	40,000
福祉のまちづくり	-	3021	ポコ・ア・ポコ	40,000
福祉のまちづくり	-	3022	ハンディを持つ人のためのミニフォーラム 咲良	30,000
福祉のまちづくり	-	3023	ハロークラブ	30,000
福祉のまちづくり	-	3024	Tomodachi Club(港北くみんの会)	20,000
福祉のまちづくり	-	3025	(任意団体)海街	40,000
福祉のまちづくり	-	3026	音楽ボランティア ヴォーカルアンサンブルフルール	40,000
福祉のまちづくり	-	3027	コールシュテルンC	40,000
福祉のまちづくり	-	3028	ゆるこう会	40,000
福祉のまちづくり	-	3029	ウクレレサークル ルア	40,000
福祉のまちづくり	-	3030	遊びと表現企画『ちびっこがちゃぽん』	40,000
福祉のまちづくり	-	3031	鯛ヶ崎お話会	40,000
福祉のまちづくり	-	3032	みんなの広場	30,000
福祉のまちづくり	-	3033	スリーAたる	40,000
福祉のまちづくり 集計				1,190,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4001	おまめアップチーム	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4002	伸び伸びスターズ	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4003	粋な男の体操サークル	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4004	ウォーキングくらぶたんぼぼ	10,000
健康増進	施設等を訪問する特技ボランティア	4005	カラフルチューン	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4006	月曜サロン	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4007	新羽シニアストレッチ	10,000
健康増進	高齢者の健康増進事業	4008	シルバー健康体操宮前教室	10,000
健康増進 集計				80,000
港北区ふれあい助成金 合計				15,784,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
イベント		5001	新吉田地区ふれあい動物園実行委員会	200,000
イベント		5002	港北区教育懇談会	200,000
イベント		5003	梅の丘公園ミュージックFES実行委員会	200,000
イベント		5004	大倉山夢まちづくり実行委員会	200,000
イベント		5005	第39回大倉山秋の芸術祭	200,000
イベント 集計				1,000,000
先駆的・重点的		6001	ここみて港北	500,000
先駆的・重点的 集計				500,000
居場所		7001	高田コミュニティカフェゆずの樹	500,000
居場所		7002	もろおか里山倶楽部	500,000
居場所 集計				1,000,000
地区別計画推進		8001	ハートフル大曾根	95,000
地区別計画推進		8002	たすけあうまち城郷推進委員会	80,000
地区別計画推進		8003	光と活力「ふくふくプロジェクト」	100,000
地区別計画推進		8004	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	100,000
地区別計画推進		8005	樽町地区計画推進委員会	100,000
地区別計画推進		8006	新羽町健康づくり部会	70,000
地区別計画推進		8007	菊名地区ひっとプラン推進委員会	70,000
地区別計画推進		8008	「ひっとプラン港北」綱島地区計画推進委員会	80,000
地区別計画推進 集計				695,000
港北区みんなの助成金 合計				3,195,000
港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 合計				18,979,000

令和5年度 港北区社会福祉協議会決算概要

令和5年度決算は、収入総額1億5,644万739円、支出総額1億555万3,308円となり、収支差額（支払資金残高）は5,088万7,431円となりました。当期資金収支差額(小計)は△587万2,900円となり、主な内訳は、移動情報センター事業費、複合機及び電話交換機の更新によるものです。

収入支出の内訳は、会費、共同募金配分金、寄付金が収入の53.9%、対する支出の48.0%を助成金が占め地区社協をはじめとする地域福祉活動の貴重な財源となっています。

資金収支計算書(P2)抜粋

(単位:円)

	収入①	支出②	収支差額③=①-②
事業活動による収支	99,680,408	103,668,458	△ 3,988,050
施設整備等による収支	0	1,884,850	△ 1,884,850
その他の活動による収支	0	0	0
当期資金収支差額(小計)	99,680,408	105,553,308	△ 5,872,900
前期支払資金残高	56,760,331	—	56,760,331
合計	156,440,739	105,553,308	50,887,431

事業活動による収支

A 収入の内訳

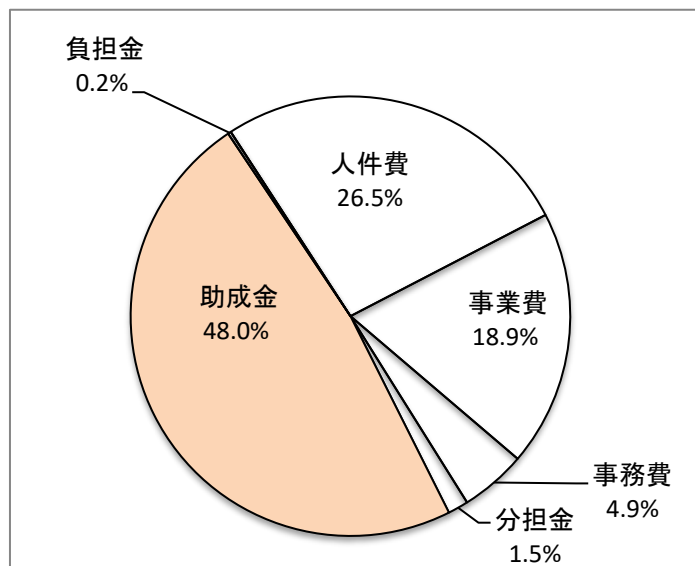
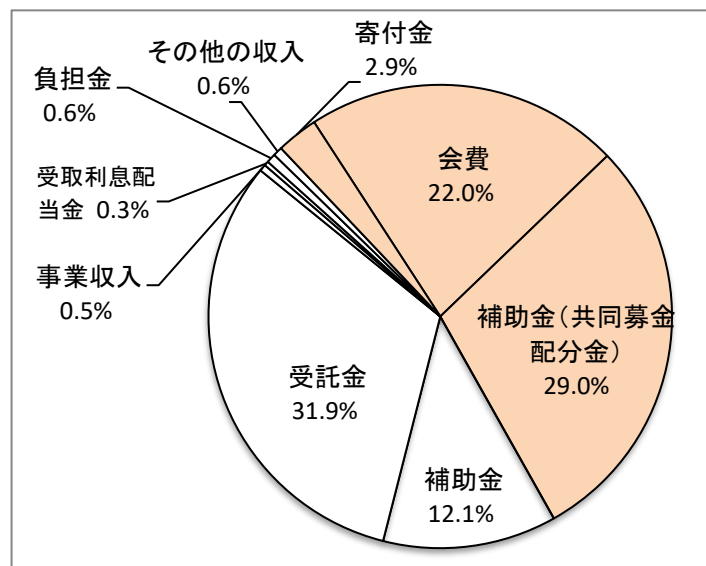
(単位:円)

会費収入	21,905,541
寄付金収入	2,884,933
経常経費補助金収入	41,031,301
受託金収入	31,789,251
事業収入	468,490
負担金収入	647,155
受取利息配当金収入	308,029
その他の収入	645,708
合計	99,680,408

B 支出の内訳

(単位:円)

人件費支出	27,519,397
事業費支出	19,552,924
事務費支出	5,034,768
分担金支出	1,561,890
助成金支出	49,761,479
負担金支出	238,000
その他の支出	—
合計	103,668,458



資金収支計算書総括表

(自) 令和5年04月01日

(至) 令和6年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

サービス区分	事業活動による収支			施設整備等による収支			その他の活動による収支			予備費支出(10)	当期資金収支差額合計(11) =(3)+(6)+(9)-(10)	前期末支払資金残高(12)	当期末支払資金残高(11)+(12)
	事業活動収入計(1)	事業活動支出計(2)	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	施設整備等収入計(4)	施設整備等支出計(5)	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	その他の活動収入計(7)	その他の活動支出計(8)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
法人運営	28,754,515	16,213,123	12,541,392	0	1,752,850	△1,752,850	3,138,592	23,665,950	△20,527,358	0	△9,738,816	23,676,677	13,937,861
ボランティアセンター事業	112,452	358,445	△245,993	0	0	0	0	0	0	0	△245,993	1,341,859	1,095,866
地区社協活動支援事業	650,000	14,815,389	△14,165,389	0	0	0	14,165,389	0	14,165,389	0	0	0	0
福祉保健活動拠点運営	17,552,406	17,136,085	416,321	0	132,000	△132,000	0	0	0	0	284,321	694,640	978,961
共同募金配分事業	29,179,832	29,523,970	△344,138	0	0	0	2,358,759	483,548	1,875,211	0	1,531,073	17,113,905	18,644,978
善意銀行運営	2,884,933	166,664	2,718,269	0	0	0	0	734,382	△734,382	0	1,983,887	13,251,119	15,235,006
移動情報センター事業	9,824,851	13,309,854	△3,485,003	0	0	0	3,485,003	0	3,485,003	0	0	21,252	21,252
権利擁護事業	484,990	480,391	4,599	0	0	0	0	0	0	0	4,599	75,759	80,358
地域福祉推進事業	282,000	291,137	△9,137	0	0	0	9,137	0	9,137	0	0	0	0
みんなの助成金配分事業	9,646,400	11,373,400	△1,727,000	0	0	0	1,727,000	0	1,727,000	0	0	0	0
福祉基金	308,029	0	308,029	0	0	0	0	0	0	0	308,029	585,120	893,149
合 計	99,680,408	103,668,458	△3,988,050	0	1,884,850	△1,884,850	24,883,880	24,883,880	0	0	△5,872,900	56,760,331	50,887,431

法人単位資金収支計算書

(自)令和5年04月01日 (至)令和6年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	21,457,000	21,905,541	△448,541	
	寄附金収入	1,000,000	2,884,933	△1,884,933	
	経常経費補助金収入	44,331,000	41,031,301	3,299,699	
	受託金収入	31,226,000	31,789,251	△563,251	
	事業収入	444,000	468,490	△24,490	
	負担金収入	700,000	647,155	52,845	
	受取利息配当金収入	315,000	308,029	6,971	
	その他の収入	77,000	645,708	△568,708	
	事業活動収入計(1)	99,550,000	99,680,408	△130,408	
支出	人件費支出	30,152,440	27,519,397	2,633,043	
	事業費支出	21,622,530	19,552,924	2,069,606	
	事務費支出	6,784,000	5,034,768	1,749,232	
	分担金支出	1,248,654	1,561,890	△313,236	
	助成金支出	54,794,000	49,761,479	5,032,521	
	負担金支出	221,000	238,000	△17,000	
	事業活動支出計(2)	114,822,624	103,668,458	11,154,166	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△15,272,624	△3,988,050	△11,284,574		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	1,752,850	1,884,850	△132,000	
施設整備等支出計(5)	1,752,850	1,884,850	△132,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,752,850	△1,884,850	132,000		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
その他の活動支出計(8)	0	0	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費支出(10)	50,595,000	-	42,763,526		
	△7,831,474				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△59,789,000	△5,872,900	△53,916,100		
前期末支払資金残高(12)	59,789,000	56,760,331	3,028,669		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	50,887,431	△50,887,431		

法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年04月01日 (至) 令和6年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益				
	会費収益	21,905,541	22,590,390	△684,849	
	寄附金収益	2,884,933	1,132,406	1,752,527	
	経常経費補助金収益	41,031,301	41,479,585	△448,284	
	受託金収益	31,789,251	35,763,701	△3,974,450	
	事業収益	468,490	505,190	△36,700	
	負担金収益	647,155	598,810	48,345	
	サービス活動収益計(1)	98,726,671	102,070,082	△3,343,411	
	費用				
	人件費	27,519,397	29,804,713	△2,285,316	
事業費	19,552,924	18,572,667	980,257		
事務費	5,034,768	3,965,781	1,068,987		
分担金費用	1,561,890	1,555,368	6,522		
助成金費用	49,761,479	51,273,042	△1,511,563		
負担金費用	238,000	221,000	17,000		
減価償却費	712,530	867,768	△155,238		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△26,835	△46,000	19,165		
サービス活動費用計(2)	104,354,153	106,214,339	△1,860,186		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△5,627,482	△4,144,257	△1,483,225		
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	308,029	292,560	15,469	
	その他のサービス活動外収益	645,708	1,748,991	△1,103,283	
	サービス活動外収益計(4)	953,737	2,041,551	△1,087,814	
	費用				
その他のサービス活動外費用	0	966,845	△966,845		
サービス活動外費用計(5)	0	966,845	△966,845		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	953,737	1,074,706	△120,969		
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△4,673,745	△3,069,551	△1,604,194	
特別増減の部	収益				
	特別収益計(8)	0	0	0	
	費用				
	固定資産売却損・処分損	1	0	1	
	その他の特別損失	155	0	155	
特別費用計(9)	156	0	156		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△156	0	△156		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△4,673,901	△3,069,551	△1,604,350	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		60,196,499	63,266,050	△3,069,551
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		55,522,598	60,196,499	△4,673,901
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	基金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)		0	0	0
	その他の積立金積立額(17)		0	0	0
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		55,522,598	60,196,499	△4,673,901	

法人単位貸借対照表

令和6年03月31日現在

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	58,451,125	63,023,487	△4,572,362	流動負債	7,563,694	6,263,156	1,300,538
現金預金	57,250,760	62,310,608	△5,059,848	事業未払金	5,098,888	5,063,022	35,866
事業未収金	91,810	309,530	△217,720	その他の未払金	1,888,576	754,434	1,134,142
未収金	732,000	0	732,000	預り金	576,230	445,700	130,530
前払費用	376,555	403,349	△26,794	負債の部合計	7,563,694	6,263,156	1,300,538
仮払金	0	0	0				
固定資産	230,575,188	229,403,024	1,172,164	純資産の部			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	基本金	3,000,000	3,000,000	0
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	0	26,835	△26,835
その他の固定資産	227,575,188	226,403,024	1,172,164	その他の積立金	222,940,021	222,940,021	0
車輛運搬具	4	4	0	福祉基金積立金	222,940,021	222,940,021	0
器具及び備品	4,635,163	3,462,999	1,172,164	次期繰越活動増減差額	55,522,598	60,196,499	△4,673,901
福祉基金積立資産	222,940,021	222,940,021	0	(うち当期活動増減差額)	△4,673,901	△3,069,551	△1,604,350
資産の部合計	289,026,313	292,426,511	△3,400,198	純資産の部合計	281,462,619	286,163,355	△4,700,736
				負債及び純資産の部合計	289,026,313	292,426,511	△3,400,198

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品一定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 法人運営及び区社協実施事業拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(7) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))

(8) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))

(9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点(社会福祉事業)

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

移動情報センター事業

権利擁護事業

地域福祉活動推進事業

みんなの助成金配分事業

福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	560,880	560,876	4
器具及び備品	9,778,507	5,143,344	4,635,163
合計	10,339,387	5,704,220	4,635,167

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
神奈川県第230回公募公債	50,000,000	49,743,100	256,900
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	49,629,650	370,350
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	49,685,000	315,000
神奈川県第94回公募公債	20,000,000	19,802,000	198,000
合計	170,000,000	168,859,750	1,140,250

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財産目録
令和6年03月31日現在

法人: 社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業: 法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	57,250,760
現金		—		—	—	33,500
小口現金		—		—	—	20,000
小口現金(一般)		—	運転資金として	—	—	20,000
その他の現金		—		—	—	13,500
その他の現金		—	運転資金として	—	—	13,500
預貯金		—		—	—	57,217,260
普通預金		—		—	—	57,217,260
1 普通預金(一般)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	21,883,536
2 普通預金(共募)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	19,371,718
3 普通預金(善銀)	川崎信用金庫	—	運転資金として	—	—	15,962,006
4 振替口座(汎用)	ゆうちょ銀行	—	振替口座として	—	—	0
8 振替口座(会費)	ゆうちょ銀行	—	振替口座として	—	—	0
事業未収金		—	あんしんセンター利用料	—	—	91,810
未収金		—	当該年度正会費他	—	—	732,000
前払費用		—	保険料(施設賠償責任保険など)	—	—	376,555
仮払金		—		—	—	0
流動資産合計						58,451,125
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	3,000,000
基本財産特定預金		—		—	—	3,000,000
定期預金(基本財産)	川崎信用金庫	—	基本財産として	—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	電動自転車	—	権利擁護事業	560,880	560,876	4
器具及び備品	防盜金庫、他	—	法人運営	9,778,507	5,143,344	4,635,163
福祉資金積立資産		—		—	—	222,940,021
普通預金(一般①)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	15,912,639
普通預金(一般②)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	37,027,382
国内公社債(神奈川県第230回公募債)	野村証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	50,000,000
国内公社債(神奈川県第232回公募債)	野村証券、みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	100,000,000
国内公社債(神奈川県債)	みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	20,000,000
証券預け金		—		—	—	0
その他の固定資産合計						227,575,188
固定資産合計						230,575,188
資産合計						289,026,313
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	人件費、事務費、他	—	—	5,098,888
その他の未払金		—	補助金戻入(福祉保健活動拠点他)	—	—	1,888,576
預り金		—	ボランティア活動保険	—	—	576,230
流動負債合計						7,563,694
固定負債合計						0
負債合計						7,563,694
差引純資産						281,462,619

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてののみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和6年5月30日

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
会長 川島 武俊 様

監事 米岡由美恵 ⑩

監事 中山千加子 ⑩

監事 家鍋雄一郎 ⑩

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。